



専門学校 日産横浜自動車大学校

〒241-0014 神奈川県横浜市旭区市沢町910 TEL.045-371-2990
●編集責任者 橋本恭子 令和4年2月16日発行



日産自動車 日産自動車 日産自動車 facebook 日産自動車 日産自動車 日産自動車
https://ja-jp.facebook.com/nissanyokohama



日産発祥の地、

YOKOHAMAでNISSANを学ぶ!

日産横浜自動車大学校は、 卒業生就職率、国家試験合格率

100%!※

※21年度国家整備1級、国家整備2級の実績

強さの理由は、

- 1 豊富な実習車 (150台!)と広い実習場で、実習が充実! 3~4人に1台の実習車
- 2 質の高い実務経験豊富な教師陣 教師の8割は国家一級整備士取得
- 3 しっかり理解したら次に進む 積み上げ方式の学習方法
- 4 努力、頑張りは褒める! 年2回の表彰
- 5 1クラス2名担任によるきめ細やかな学生サポート
- 6 課外授業で人間力を醸成。SGT参戦や最新技術搭載の試乗会など楽しいイベントも盛り沢山!

だから、初めてクルマに触れる学生でも基礎から学べるカリキュラムで自動車エンジニアとしての実力を段階的に身につけることができます。この続きは、ぜひ横浜校に来て見て、強さの理由を体験してくださいね。

1年生、初めての表彰

工学科 実習 最優秀賞

一級自動車工学科 1年F1組 大塚 悠真



今年度前期の履修試験(実技)で最優秀賞を頂きました。
今まで表彰とは無縁の人生を送ってきたので素直に嬉しかったですし、半年間の自分の努力が形になったのでとても達成感があります。実技試験では、正確な作業だけでなく素早さも必要になってくるので、普段から先生の手本や作業が上手い学生の技を見て、自分でも出来そうな技術を習得するようにしています。この調子で後期もトップ目指して頑張りたいです。

工学科 学科 最優秀賞

一級自動車工学科 1年F1組 田中 瑛仁



最優秀賞をいただけて、とても嬉しいです。マグリと言われない様に頑張っていきます。勉強方法は、青マーカーと赤シートを多用しています。授業中にラインを引いたところから重要な単語を青マーカーで引いておき、家に帰ってから赤シートで隠しながら覚えます。毎日その日の分を勉強し、テスト前には範囲内全部を赤シートを使って勉強しました。

整備科 実習&学科 最優秀賞

W受賞! 自動車整備科 1年1組 鈴木 秀斗



学科・実習共に最優秀賞を頂く事が出来てとても嬉しく思います。普段から解らないところを相談によってくれるクラスメイトや先生方のわかりやすい授業のおかげだと思えます。私がA巡から続けている勉強法は、ノートを積極的に取るようにしている事です。授業中にノートを書くことで頭の中にスムーズに内容が入っていき理解しやすいです。授業中にノートを書ききれないこともあります。その場合は復習するきっかけにもなるため自宅に持ち帰って書くようにしています。休み時間などにノートを見る事で過去の授業もすぐに振り返る事が出来るのでおすすめです。今後も成績を落とさないように頑張りたいと思います。

メーカー校だからこそそのスーパーGT参戦や GRANDRIVEでの授業で人間力の育成!

SGT参戦 < 富士戦 >



GRANDRIVE

グランドライブ

体験試乗授業 2年生



私は今回のグランドライブ体験試乗で最新技術の凄さを実感しました。

まず、e-power、EVの静粛性と加速力、次にプロパイロットの滑らかな運転、そしてVDCの滑りやすい路面でも安定して走れる緻密な制御、どれも貴重な体験で日産の高い技術力を感しました。また、GT-Rは物凄い加速力と音で、刺激的且つとても楽しい体験でした。そして今回、このような機会を設けていただきとても感謝しています。

一級自動車工学科 2年F2組 渡邊 光



横浜校の大きな課外活動の一つに、国内最高峰レースのスーパーGTへの参戦があります。この活動は、学生スタッフがレースチームの一員として参加し、PIT作業のサポートや、スポンサーさま、お客さまのおもてなしを行いながら、人間力の育成することが目的です。PIT作業ではさらに全国から選ばれた日産販売会社の整備士の方も数名参加され、三位一体となった活動としています。

本活動は前身のスーパー耐久レースから始め、10年を迎えることになりました。学生スタッフたちは、当日の活動について、事前にわかる範囲で各自で準備をし、当日の活動からその日の夜に振り返り、最終日に改善を行動に移し、活動の質を高める努力を行っています。この短い時間での改善活動が自身の気づき、新たな行動となり大きく成長をしていくこととなります。

また別の課外授業に横須賀市の追浜にあるGRANDRIVEでの試乗体験というものもあります。これは自ら最新の車両を運転し、車両の特性や、先進安全技術の体感することで、日々授業で学んでいることの実確認になります。車両には一度は運転してみたいGT-Rや、自動運転体験や電気自動車の試乗など幅広い車種を用意しています。

通常授業以外にも課外授業や活動により知識、技術、人間力の育成を目指したカリキュラムとなっています。



学生からのメッセージ



一級自動車工学科

4年F2組

中谷 陽人



一級自動車工学科

3年F1組

酒井 康平



一級自動車工学科

2年F1組

福永 匠



学校生活で印象に残っている思い出と国家試験への意気込み

私の学校生活での一番の思い出は2年生の時にいったオーストラリアでの海外研修です。日本とは違う現地の自動車事情は興味深く、現地の学生との英語でのコミュニケーションに最初は緊張しましたが、共通の興味である自動車の話を通じて、有意義な時間を過ごしました。また、研修の途中には、訪れた動物園でのコアラとの触れ合いやオーストラリアの自然を垣間見る機会もあり、とても良い経験となりました。三月に国家一級資格を受験しますが、合格には理屈の理解が重要となる為、苦手を潰して、絶対に合格を勝ち取ります。

就職内定を勝ち取るために

私は、地元である長野県の販売会社に就職しようと考えています。内定をいただくために、「自分の強みはどんなところなのか」、「自分はその企業で何ができるのか」、「なぜその企業を志望したのか」をしっかりと考えていきたいと思っています。履歴書の作成や面接練習、企業研究、一般常識の勉強などやるべきことは沢山ありますが、悔いを残さないように一つ一つよく考えて、コツコツと準備を進めていきます。

学校生活で楽しい事、大変な事と国家試験への意気込み

私が学校生活の中で楽しい事は車好きのクラスメートと話す事と、実習車を用いて普段見られない箇所を見ることが出来る事です。そのためモチベーションを切らすことなく勉強が出来ています。逆に大変な事は試験が多い事です。学校の試験以外にも様々な資格試験があり、実習の試験などと重なってしまった時が大変です。国家資格への意気込みとしては毎日の継続が肝心だと思うので、コツコツ勉強して国家資格の準備をしようと思います。

自動車整備科

2年1組

及田 将和



自動車整備科

1年2組

高橋 慧名



一級自動車工学科

1年F1組

砂川 孝則



モータースポーツ科

1年

衛藤 恵理也



学校生活で印象に残っている思い出と国家試験の意気込み

この2年間は私にとって大切な思い出となりました。その中でも印象に残っていることは1年生の時にいったSGTです。この時初めての課外授業、みんなでバスに揺られ富士スピードウェイに行きました。その時シーズンは最終戦で、見事リアライズGTRは私たちの目の前でシリーズ優勝し、みんなで喜び合ったことを今でも覚えています。これから、難関の国家試験に挑みます。クラスの人々と切磋琢磨し必ず合格して見せます。

就職内定勝ち取りに向けた意気込み

内定を勝ち取るために、私は普段の生活やアルバイトで言葉使いを意識しています。私は話すことが得意なので、長所を伸ばすために心がけています。面接や仕事に言葉使いが悪いと相手に悪い印象を与えてしまうので特に気を付けています。そして整備士には車を整備するための技術や知識が必要なので学科や実習では自分がわかりやすいように簡単に良いのでメモを取り、あとで自分なりにまとめたりしています。学科に関しても、履修試験の約1か月前より試験勉強を始め、全教科高得点を目指し努力をしています。

学校生活で楽しい事、大変な事と今後の意気込み

入学してからもうすぐ1年、学校生活にかなり慣れてきました。しかし、勉強スタイルの確立はまだ出来ていないと思っています。私は今までの学科履修試験において対策プリントを解くことを基本としていました。ですが、今までの学科試験で点数があまり良くなかったため、やり方を改め、復習をメインにやってみようと考えています。

モータースポーツ科で勉強しての感想

MS科に入り学んだことは、整備科で2年間行ってきた授業の重要性です。実走するフェアレディZやシルビアの整備をしたり、チューニングパーツの取り付けをnismoの方から教わる時、ドライビングレッスンでプロドライバーの方と話す時にそれを強く感じました。またカートレースの参戦で、毎回異なる状況での活動やトラブル対応などを重ねることで、想定外のことが起きた時の対応力が向上したと自分自身で感じています。残りの学生生活でもさらに成長できるように多くのことを学びたいと思います。

プラモデルコンテスト

つくってo(^o^)o ワクワクプラモデルコンテスト

コロナ禍でも明るい話題を提供できないかとこの活動を始めました。10名の学生スタッフが、スケジュール立案やルール策定などの企画からプラモの配布、回収、展示といった運用まで頑張ってくれました。実はスマホの投票プログラムも彼らが作ってくれました。参加者に「つくってよかった」という達成感を提供できることが、我々の思いです。(石川教諭)

投票結果(エントリー台数 36台: 投票数153票)

結果	point	車種	所属	氏名(敬称略)
1位	47	R34 NISMO Z-tune	1年3組	杉山 匡
2位	45	インフィニティ Q45	3年F2組	星川 昂希
3位	41	SILEIGHTY X VIPER	2年F1組	森光 祐文



自動車整備科 1年3組 杉山 匡

自分の作品が、優勝と聞いて手間暇かけて作ったかひがありました。作成時間は約2週間。こだわったところは、ボンネットリヤスポイラー・リヤディフューザーにカーボンを貼ったことです。カーボンの貼り込みが大変でした。皆さん投票ありがとうございました。

モータースポーツ科の活動紹介



横浜校の上級課程※「モータースポーツ科(以下MS科)」、その活動内容についてご紹介します。

今年度は体感、体験をキーワードに、ジムカーナ場などを利用してのデータ収集と比較走行を数多く行いました。ブレーキの効き具合やサスペンション変更による旋回性能および挙動の違いなどボリューム満点の内容となっています。MS科の狙いでもある「社会性や安全性を考慮し、自らの経験談としてお客様へのさらなる提案力を身につける。」といった学生の出口像を実現するため、純正仕様の車両とアフターパーツなどで段階的にチューニングされた車両を用いて学生自らが整備し、試走し、考えることによって様々なお客様にもレベルの高い的確な提案が可能となる力を養います。さらに今年度はエンジンのフルオーバーホールも実施するなど、新しいアイテムや取り組みが盛りだくさんですが、ここではお伝えしきれないので詳しくは横浜校のHPからFacebookまたはInstagramをご覧ください。

※2年制の自動車整備科、4年制の一級自動車工学科を卒業後に進学できる1年課程のコースです。



就職活動

就職率は100%です。その殆どが第一志望に内定を獲得します。日産横浜自動車大学校では、入学した時から常に“就職”を意識しています。自動車の知識・技術を習得するのは当たり前ですが、ここでは「社会における一流の振舞い」を身につける教育を受けられます。日産横浜自動車大学校における就職活動は、日産販売会社と連携し体験実習やインターンなどリアルな職場や整備士との接点を一人一人が明るい未来を描けるよう全力でサポートします。自分の可能性、能力を信じてみましょう。我々は、皆さんを全力でサポートします。



TS講演

[左]
(株)日産サテオ湘南
塚田 靖章 様 (2009年3月卒業)

[右]
日産プリンス神奈川販売(株)
山崎 雄太 様 (2005年3月卒業)



パネルディスカッション(工学科16期生)

[左から]
・日産車体(株) 大滝 琉久 様
・神奈川日産自動車(株) 秋元 宏太 様
・(株)日産サテオ湘南 大胡田 陸 様
・日産プリンス神奈川販売(株) 大沼 由幸 様
・千葉日産自動車(株) 甲斐 勇人 様



横浜校のオープンキャンパスに

来て 見て 体験 しよう!

横浜校のオープンキャンパスに行ってみよう!オープンキャンパス開催中!!

横浜校では、楽しいオープンキャンパスを開催しています。スペシャルイベントやその他にコースを選べる体験実習ありのオープンキャンパスもあります。なんと無料ランチ付!!参加していただければ、満足していただけるのであーる。(*^^)v 整備士に興味のある方は、ぜひ参加してください。(ショートコースやWEBオープンキャンパスも有ります。)★交通費支援します!

高校1年生2年生の方、
保護者の方の参加也大歓迎!

体験実習

施設見学

勉強会

保護者説明会

2月26日[土]・3月5日[土]

選べる体験実習あります!

3月25日[金]

半日学校説明会

3月26日[土]

GRNDRIVE(グランドライブ)ワクワク体験会

横浜校を飛び出し、日産自動車(株)のテストコースでGT-Rの同乗体験や日産の先進技術を搭載したクルマに同乗体験ができます。(最寄駅:京浜急行線追浜駅)

参加申し込みは、当校HPまたはフリーコールよりお願いします。

お申込みは、
こちらから



0120-230-814

平日
9:00~17:00

日産横浜自動車大学校

検索



4月入学、まだ間に合います!

希望される方は、横浜校HPのお問い合わせより入力をお願いします。その際、一番下のお問い合わせ欄に『4月入学希望』と入力してください。横浜校から連絡を入れます。もちろんフリーコール 0120-230-814からでもOKです!4月入学に向けて、ラストスパート!



2022年
4月入学を
希望の方

まだ間に合う! 入試情報